

虐待を受けた子どもの回復に向けた支援のあり方 (2)

：精神科医療、心理臨床、ソーシャルワークの最前線

*当財団(講座)は「臨床心理士」資格取得者の研修機会として、(公財)日本臨床心理士資格認定協会より「短期研修機会(ワークショップ)」の承認を受けております。 <承認期間:平成 29 年 7 月 1 日~平成 34 年 6 月 30 日 承認番号:W291111>

期 日：2019年 2月 2日(土)・3日(日)

受講対象：子どもの虐待・いじめ防止・子どもの援助に携わるすべての専門職・行政職・民間団体・ボランティアの方

定 員：100名(定員になり次第締切りますのでホームページなどでご確認ください)

受講料：12,000円(税込み) ※昼食は各自おとりください

会 場：TKP ガーデンシティ大阪淀屋橋 バンケット 10B

会場変更しています!

大阪市中央区今橋2-5-8トレードピア淀屋橋10F ※詳細地図は受講証に添付いたします

〔大阪メトロ御堂筋線「淀屋橋」⑧番出口から徒歩約5分〕
〔大阪メトロ堺筋線「北浜」②番出口から徒歩約5分〕

主 催：公益財団法人 明治安田こころの健康財団 TEL 03-3986-7021

講師ご紹介 ■■ 企画講師 // 西澤 哲 先生 // 山梨県立大学人間福祉学部 教授 ■■

田中 究 先生：兵庫県立ひょうごこころの医療センター 院長

【ご出講順】

塩田 規子 先生：社会福祉法人救世軍世光寮 副施設長

亀岡 智美 先生：兵庫県こころのケアセンター 副センター長

藤林 武史 先生：福岡市こども総合相談センター 所長

本年8月30日、厚生労働省は、2017年度に全国の児童相談所が対応した虐待通告件数が133,778件であったことを公表した。通告件数は、統計が初めて公表された1990年以来、年々増加の一途をたどっており、子ども虐待の問題への対応は、わが国の子ども家庭福祉の極めて重要な中心的課題となっている。こうした現状において、子どもを支援する専門職には、虐待を受けた子どもが呈するさまざまな精神的問題や行動上の問題への対応が求められ、そのためにはトラウマやアタッチメントに関する理解とそれに基づく支援の技術が必須となる。

本講座では、2016年に引き続き、虐待を受けた子どもの回復に向けた支援をテーマとし、精神医療、心理臨床、ソーシャルワークの各領域で実践を重ねておられる各講師から、それぞれの領域における最前線の知見を学ぶ。

【企画講師：西澤 哲】

| | 日程 | 時間 | テーマ | 講師(敬称略) |
|-------------|---------|-------------|--|---------|
| プログラム | 2月2日(土) | 13:00~14:30 | 子どもの回復に向けた治療とケア | 西澤 哲 |
| | | 14:45~16:15 | 虐待を受けた子どもの精神医療 | 田中 究 |
| | | 16:30~17:30 | 児童養護施設におけるソーシャルワークのあり方 | 塩田 規子 |
| | 2月3日(日) | 9:30~11:00 | 虐待された子どもの心理療法： ポストトラウマティックプレイを中心に | 西澤 哲 |
| | | 11:15~12:45 | 虐待された子どものトラウマケア： トラウマインフォームドケアの視点から | 亀岡 智美 |
| | | 13:45~15:15 | 子どもの回復を促す養護環境をどう創るか： 措置権者としての児童相談所の役割 | 藤林 武史 |
| 15:15~16:00 | | 総合討論 | 出講講師陣 | |

※時間割・テーマ等が変更となる場合があります。予めご了承ください。